



A 院内はベビーカーや車いすでも安心の広々とした空間。リラックスして過ごせるよう、待合室は木目調で白を基調とした明るい雰囲気です B さまざまな最新の検査機器を積極的に導入し、検査の正確さと迅速性の向上に努めています



C 院長はじめ視能訓練士やスタッフのみなさんはすべての患者さんに、丁寧でわかりやすい説明を心掛けています

初めての眼鏡は過矯正に注意
適切な度数測定が大切

東急東横線・武蔵小杉駅直結のショッピングモール内にある、さこう眼科。雨の日でも苦にならないアクセスのよさと、入り口から診察室まで車いすやベビーカーを入れるバリアフリー設計は幅広い患者さんに好評で、隣接する内科や皮膚科、小児科との連携治療も行っています。

地域の小学校の校医も務めている院長の酒匂丈裕先生。学校検診の結果から眼鏡についての相談もよく受けるそう。「仮性近視は視力回復が期待できるので治療から始めますが、学童近視の場合は生活に支障が出てくれば眼鏡を処方します」と酒匂先生。眼鏡を早く始めたり、かけたり外したりすると近視が進むのは、との質問も多いそう。「眼鏡が明らかに近视を進めたとの研究結果はありません。ただし、度数の強すぎる眼鏡を使用すると過矯正となり、近視が進む可能性がある

東急東横線・武蔵小杉駅直結のショッピングモール内にある、さこう眼科。雨の日でも苦にならないアクセスのよさと、入り口から診察室まで車いすやベビーカーを入れるバリアフリー設計は幅広い患者さんに好評で、隣接する内科や皮膚科、小児科との連携治療も行っています。

地域の小学校の校医も務めている院長の酒匂丈裕先生。学校検診の結果から眼鏡についての相談もよく受けるそう。「仮性近視は視力回復が期待できるので治療から始めますが、学童近視の場合は生活に支障が出てくれば眼鏡を処方します」と酒匂先生。眼鏡を早く始めたり、かけたり外したりすると近視が進むのは、との質問も多いそう。「眼鏡が明らかに近视を進めたとの研究結果はありません。ただし、度数の強すぎる眼鏡を使用すると過矯正となり、近視が進む可能性がある

初めての眼鏡は過矯正に注意
適切な度数測定が大切

東急東横線・武蔵小杉駅直結のショッピングモール内にある、さこう眼科。雨の日でも苦にならないアクセスのよさと、入り口から診察室まで車いすやベビーカーを入れるバリアフリー設計は幅広い患者さんに好評で、隣接する内科や皮膚科、小児科との連携治療も行っています。

地域の小学校の校医も務めている院長の酒匂丈裕先生。学校検診の結果から眼鏡についての相談もよく受けるそう。「仮性近視は視力回復が期待できるので治療から始めますが、学童近視の場合は生活に支障が出てくれば眼鏡を処方します」と酒匂先生。眼鏡を早く始めたり、かけたり外したりすると近視が進むのは、との質問も多いそう。「眼鏡が明らかに近视を進めたとの研究結果はありません。ただし、度数の強すぎる眼鏡を使用すると過矯正となり、近視が進む可能性がある



D 機器の先端を見るだけで視機能の検査が瞬時に見えるスポットビジョンスクリーナー

斜視の改善に努めています。

さらに、子供の斜視への相談も多いと言っています。

斜視は手術やプリズム眼鏡での治療が必要ですが、たまに眼球が外側を向く間欠性外斜視は目を内側に寄せる輻輳(ふくら)ます。自分で訓練ができるキットを用いて、

斜視の改善に努めています。

るので、初めて作る際には特に適切な度数に合わせる必要があります」と注意を呼びかけます。「当院では低学年のお子様に処方する際は点眼薬を使用して、過矯正を予防するようにしています」。

また、眼鏡で矯正しても1・0以上の視力が出ない場合は弱視の可能性もあり、その原因はさまざま。遠視や近視、乱視が原因の屈折異常弱視の場合、同院では従来の眼鏡やアイパッチに加え、オクルパドというタブレット型の機器を利用した訓練を併用し、より早期の視力発達を目指しています。

斜視は手術やプリズム眼鏡での治療が必要ですが、たまに眼球が外側を向く間欠性外斜視は目を内側に寄せる輻輳(ふくら)ます。自分で訓練ができるキットを用いて、

斜視の改善に努めています。

Data

さこう眼科

●眼科 ●小児眼科



044-430-4350

川崎市中原区新丸子東3-1302 ららテラス武蔵小杉4F
<http://www.sakoh-ganka.com/>

受付時間 mon tue wed thu fri sat sun
9:30~12:30 ● ● ● ● ● ●
14:30~18:30 ● ● ● ● ● ●

▲10:00~12:30・14:30~17:00(祝日含む)
駐車場:提携地下駐車場あり



最新の機器・治療を導入し 子供の近視対策に積極的

さこう たけひろ
院長 酒匂 丈裕 先生

PROFILE

奈良県立医科大学卒業。大阪大学医学部眼科入局。大阪労災病院、三木山陽病院、小川眼科を経て2014年にさこう眼科を開院。日本眼学会認定眼科専門医。



酒匂先生に聞く!

小学生の眼に関する Q&A

Q

近視になると視力の回復はできないのでしょうか。
(小5女児)



近くでものを見る作業が続くと眼球の中の筋肉が凝り固まり、遠くを見ようとしてもピントが合わなくなります。この状態を仮性近視といい、点眼薬やトレーニングの治療を1~3カ月ほど続けることで視力が戻ることもあります。治療後も視力が回復しない場合は、学童近視といいます。遺伝や環境、成長に伴う学童近視の視力回復はほとんどないので、仮性近視の段階での受診はとても大切です。近視の対策としては、日光に当たる屋外での運動や、読書時は目から30cm以上離し、30分に一度の休憩を心掛けましょう。また最近では学童近視の進行抑制として、低濃度アトロピン治療やオルソケラトロジーなども世界的に治療法として認められており、当院でも導入しています。

A

点眼薬やトレーニングで回復する場合も
30cm・30分で近視の進行を抑制しましょう

